

黒潮と異常気象は予測できるのか？ ～大気・海洋・生物研究者たちの闘い～

三重大学大学院生物資源学研究科附属練習船「勢水丸」は、「黒潮流域圏における生物資源と環境・食文化教育のための共同利用拠点」として、平成22年度から文部科学省教育関係共同利用拠点体制強化事業に取り組んでおり、平成27年度から第2期、令和2年度から第3期、そして令和7年度から第4期目の拠点認定を受け、学外の学生も乗船可能な公開実習航海や食文化実習航海の内容拡充とともに、他大学の単独実習による共同利用も一層進んでいます。

この拠点事業活動の一環として、本年度もシンポジウムを開催致します。今回は、共同利用拠点の第四期の新たな始期として、共同利用に関連する教育と研究のこれまでの振り返りと未来展望を中心とした講演を行います。

■ 日時 令和8年 **3/17** (火)
14:00～17:00 (受付13:30)

入場無料
・
事前申し込み不要

■ 場所 三重大学地域イノベーションホール
(地域イノベーション研究開発拠点D棟3階)

■ プログラム

14:00～14:10 開会挨拶 塚田 森生 (生物資源学研究科・副研究科長 (教育担当))

14:10～14:40 演題 日本近海に現れた“100年後の海”
- 黒潮大蛇行と黒潮続流北進による記録的昇温 -
杉本周作 (東北大学大学院理学研究科・准教授)

14:40～15:10 演題 勢水丸による海洋前線帯の大気海洋集中観測
本田 明治 (新潟大学自然科学系・教授)

15:10～15:40 演題 三陸のアカウミガメには好きな水温がある？
- 水温上昇による回遊変化をバイオロギングで実証する -
小山 初菜 (東京大学大学院農学生命科学研究科・修士2年生)

15:40～16:00 休憩

16:00～16:50 総合討論

16:50～17:00 閉会挨拶 立花 義裕 (共同利用拠点支援室長)



問合せ・連絡先

三重大学大学院生物資源学研究科 附属教育研究施設事務室 練習船担当

TEL 059-230-1143

E-mail ship2012@bio.mie-u.ac.jp